

SEMBA CLUB Annual Report 2020

「船場倶楽部」では、船場の歴史・文化・暮らしを育みながら、良好な景観・美観を創出し、まちの魅力向上と賑わいづくりに貢献するため、船場地区内の地域連合振興町会、商業団体、社寺、法人企業、そして地域まちづくり団体などが連携協力し、船場地区全体に亘る課題について、検討し解決に努めることを目的として活動しています。

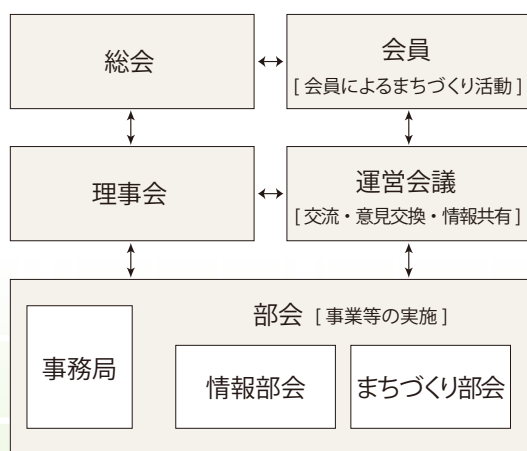
今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、十分な会員間の懇親や情報交換ができませんでした。したが、以下の2つの重点事業を中心に、活動成果を収めることができましたのでご報告します。

- ①船場コンペをふまえたまちの将来像の可視化
- ②ゲートタイプ案内板の拡充

活動内容

- | | |
|---|---|
| <p>1 まちの課題を解決し、新しい都心像に挑戦</p> <p>3 開かれた船場の窓口</p> | <p>2 柔らかな連携と交流を育くむまちづくりを発展</p> <p>4 船場の情報発信</p> |
|---|---|

組織体制



役員等（2020 年度）

特別顧問	橋爪 紳也（大阪市特別顧問 大阪府立大学研究推進機構教授 大阪府立大学観光産業戦略研究所 所長）
理事長	大橋 達夫（集英連合振興町会）
副理事長	田中 雅人（大阪ガス（株））
理事	青木 教至（道修町まちづくり協議会）
理事	池田 吉孝（船場博覧会実行委員会）
理事	池永 純造（船場まつり推進協議会）
理事	川上 潤（愛日連合振興町会）
理事	千葉 桂司（船場クリエイティブポート推進協議会）
理事	中塚 一（（株）地域計画建築研究所）
理事	日比 哲夫（寄合びんご）
理事	源 裕次（船場センタービル連盟）
理事	渡邊 紘一（坐摩神社）
会計監事	小川 優一（せんば心斎橋筋協同組合）
会計監事	玉野 淳（船場中央税理士法人）
事務局長	谷口 康彦

会員（2021 年 3 月末時点）

正会員	74 名
賛助会員	58 名
（連合振興町会、商店街、まちづくり活動団体、寺社、法人、個人）	

1. 活動報告

船場コンペを踏まえた まちの将来像の可視化

2019 年度に実施した提案コンペ「船場 2030 ～ワクワクする船場のこれから～」の結果を踏まえ、入賞者が中心となり、COVID-19 への対策を図りつつ、以下の取組を実施しました。

高麗橋 street park | 主催：船場博覧会実行委員会・船場倶楽部

“バルセロナ7” チームの提案を基に船場博覧会実行委員会、連合振興町会等の連携により、高麗橋通（一部区間）の車道を閉鎖し、道路と公開空地（民地）が一体となった歩いて楽しめる人中心のまちを可視化する社会実験を船場博覧会のイベントとして実施しました。

道路上には、本物の芝生が敷かれ、オープンエアーの居心地の良い空間で、計 1,251 人の来場者に、飲食をはじめ、音楽ライブやヨガ、ワークショップといった様々なコンテンツを満喫いただきました。

今後、更なる検証を重ねるとともに、周辺交通への影響等も検証することで、ウォークアブルなまちの実現を目指していきます。



社会実験当日の様子



ワンメーターズプロジェクト in 久宝公園 | 主催：船場倶楽部・チーム cobon 共催：久宝連合振興町会

提案コンペの入賞者（有志）で構成するまちづくりの実践チーム“チーム cobon”では、地域の連合振興町会や商店街、地権者のサポートを得ながら、公共空間の活用にかかるトライアルを実施しました。

この取組では、①With コロナ時代のパブリック・ライフを描くこと ②様々な人の「やってみたい」を実現すること を目標に掲げ、公園にソーシャル・ディスタンスを可視化するための仕掛け（1 m×1 m のグリッド）を設置するとともに、船場の繊維（布）を活用したインスタレーションや、マルシェなどのコンテンツを準備することで、感染症を予防しながら、屋外空間を楽しんでもらえる工夫を行いました。

2021 年度以降も、中船場を中心に、様々なチャレンジを展開していく予定ですので、ご期待のほど、よろしくお願いします。



グリッドによるソーシャル・ディスタンスの可視化



夜は布を使った屋外シアターに

まちづくり部会

本年度は、船場コンペを踏まえたまちの将来像の可視化事業や、大阪市が設置した「御堂筋協議会」や、大阪商工会議所「大阪都心機能のバージョンアップ検討会」に参加し、情報を共有するとともに、船場のまちの将来像やまちづくりの在り方の検討を進めました。

また、パブリックライフ創出プロジェクトの拡大展開を目指し、大阪市の協力のもと、「令和3年度官民連携まちなか再生推進事業」の補助要望を行ないました。

情報部会

船場「まちの案内板」の設置

船場の魅力を伝えていくための案内板の設置をすすめています。2020年度は、地域地権者、関連団体、連合振興町会のご協力もあり、中船場、南船場を中心に、ゲートタイプ案内板3基、大阪市設置案内板2基、地権者案内板1基が追加され、累計22基の案内板が完成しました。

また、案内板盤面を作成する中で発掘してきた地域資源を地図化した「船場マップ」を制作しました。



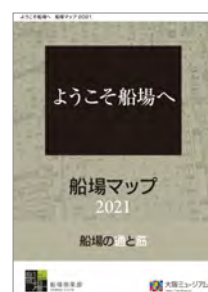
南船場に設置したゲートタイプ案内板

船場ナビ

船場のみどころやイベント情報を紹介するウェブサイトを運営しています。

2020年度は、HPにおいて、船場の古写真などを閲覧できる「船場アーカイブス」の公開を始めました。

また、SNS(Facebook, Instagram)では、船場の日常風景を「船場つうしん」として発信を継続しています。



船場マップ



船場アーカイブスの古写真

船場ガイドブック 2020 の発行

船場の魅力をお伝えする「今日からあなたも船場人」船場ガイドブック」を発行しています。

第9号にあたる2020年度版では、「船場の通と筋」について特集しました。



船場フォーラム 2020 ―今こそ船場数珠つなぎ― の開催

年に一度、船場について語り合う場として、船場フォーラムを開催しています。

第17回目となった今年度は、船場全体を会場と見立て、北船場・中船場・南船場各地域の魅力ある人・モノ・スポットをオンライン中継でつなぐ、新しいウィズコロナ時代ならではの開催形式にチャレンジしました。



当日の様子（ZOOM画面での集合写真）

活動助成制度

船場倶楽部では、会員による新たな魅力創出事業の立ち上げなど創意ある活動や、会員団体の相互協力による連携イベントの実施に対して、金銭的な支援を行う「活動助成制度」を創設しています。

※2020年度は、応募団体が、別財源を獲得できたため応募の取り下げがあり、助成には至っていません。

2. 会員活動紹介

会員による特徴的な活動を紹介します。

「アーバンツーリズム」の確立に向けた滞在コンテンツ造成の取組

by 船場まつり推進協議会

国土交通省観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業の採択を受け、「大阪商人のまち・船場で「アーバンツーリズム」を確立する滞在コンテンツ造成実証事業」を実施。感染症対策を図りつつ、船場地区のホテル群との連携ネットワークの構築、食文化を紹介するグルメマップの作成、近代建築・商店街・寺社などの地域資源の発信、まち歩きツアーや観光バスツアーなどの都市回遊型コンテンツ、繊維卸・商いのまちならではの体験型イベントや消費促進イベントを実施。



船場博覧会

by 船場博覧会実行委員会

コロナウイルス禍においても、感染症対策を徹底し、船場の文化的魅力を伝えるイベント（11/18～11/23）、及び旧家に伝わる雛飾りを公開する「船場のおひなまつり」を開催（2/25～3/3）。



せんば鎮守の杜芸術祭・音楽会

by せんば鎮守の杜芸術祭実行委員会

坐摩神社境内を舞台に、昼は地元音楽団体による音楽祭、夜はオペラ&バレエのかがり火コンサートを毎年10月に開催。2020年は残念ながら中止となったが、2005年より活動を続け15年を迎えた。



かんまち事業を活用した景観整備

by 道修町まちづくり協議会

大阪市の「かんまち事業」を活用し取り組んでいる、道修町2～3丁目の無電柱化・道路整備事業を契機に、道修町通沿道の方々の意向を汲み、地域景観づくり協定の策定が進行。



船場浪華会館のオープン

by 浪華連合振興町会

浪華連合振興町会、及び浪華地域活動協議会の活動拠点となる「船場浪華会館」がオープンしました。まちづくりや地域活動にご利用ください。所在地：大阪市中央区北久宝寺町1丁目6番9号



お問い合わせ



船場倶楽部
SEMBA CLUB

■ 船場倶楽部に関するお問い合わせ

Mail / info@sembaclub.com

■ 船場倶楽部ホームページ

www.sembaclub.com

イベントやエリア情報などを集約した
ポータルサイト



船場ナビ

<https://semba-navi.com>

船場ナビ

検索